

第73期

中間事業報告書

平成22年4月1日から

平成22年9月30日まで

松本油脂製薬株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年9月30日をもって終了いたしました第73期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況につき、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、内外での景気対策や新興国における需要回復等を背景に緩やかな回復の動きを示しておりましたが、春先から一部欧州諸国の財政懸念により、ユーロ安、ドル安が加速し、また有効な金融経済対策が打てず、現在どの通貨に対しても円高基調が続き厳しい状況となっております。

当社グループの重要な販売分野であります国内繊維産業におきましては、国際競争力の低下による海外生産拠点への移行や生産中止が相次ぎ、売上が減少となりました。一方海外繊維産業向けでは、中国が内需拡大政策に伴い、昨年早い段階で不況前の水準に戻り、アジア地域やその他の地域におきましても順調に持ち直してきておりません。

非繊維分野におきましては、国内では自動車産業向けはエコ減税政策の効果もあり、大幅減産は緩和されました。また住宅販売の不振は長期化の様相を呈しており、建材用途向けの回復には至りませんでした。一方海外では中国をはじめとするアジア諸国の需要は旺盛であり、得に中国、東南アジアの自動車生産は急速に拡大しており、自動車産業向けは堅調に推移しました。

国内での市場縮小や大幅な円高の進行などマイナス要素はありましたが、当社グループでは売上・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に努め、前年実績を上回る結果となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高12,951百万円（前年同期比113.1%）、営業利益778百万円（前年同期比298.2%）、経常利益563百万円（前年同期比168.6%）、中間純利益328百万円（前年同期比166.3%）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

- ① 界面活性剤部門における当中間連結会計期間の売上高は9,442百万円（前年同期比113.8%）、営業利益は562百万円（前年同期比327.8%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社への販売は昨年並に推移しました。一方海外向けは、主として中国の合繊メーカー各社への拡販が功を奏し、売上高1,460百万円（前年同期比109.0%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化による海外シフトへの影響でテキスタイル分野の加工剤の販売は減少しましたが、炭素繊維は航空機、産業資材向けを中心に回復し、処理剤の販売が増加傾向となりました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では、特に中国の内需拡大政策が続き、増設増産も行われて工業用繊維分野、衣料用分野、弾性繊維用分野ともに好調で、関連処理剤の販売金額は増加しました。これにより国内の低迷をカバーし、売上高7,574百万円（前年同期比115.5%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維全般の加工が縮小し、関連加工剤の販売が減少しました。一方化学工業分野では、製品価格の下落に歯止めがかかりまた販売量が増加したため、売上高406百万円（前年同期比101.0%）となりました。

- ② その他部門における当中間連結会計期間の売上高は3,508百万円（前年同期比111.4%）、営業利益は215百万円（前年同期比241.4%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布関係の生産が減少し、製織用糊剤の販売が減少しました。非繊維関連では、化粧品原料は堅調に推移しましたが、建材関係は住宅着工件数の低迷が続いており有機高分子製品が減少しました。低迷していた自動車生産は回復し、ゴム成型用薬剤等の販売も増加しております。

当連結会計年度の見通しにつきましては、売上高25,800百万円、営業利益1,370百万円、経常利益1,250百万円、当期純利益740百万円を目標として全社を挙げてより一層努力する所存でございます。

中間連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	29,083	流 動 負 債	7,255
現 金 預 金	14,998	買 掛 金	5,628
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	7,183	短 期 借 入 金	700
有 価 証 券	2,102	未 払 法 人 税 等	55
商 品 及 び 製 品	1,628	賞 与 引 当 金	118
仕 掛 品	416	そ の 他	753
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,073	固 定 負 債	426
繰 延 税 金 資 産	463	退 職 給 付 引 当 金	244
そ の 他	1,221	そ の 他	181
貸 倒 引 当 金	△4		
固 定 資 産	15,767	負 債 合 計	7,682
有 形 固 定 資 産	5,497	純 資 産 の 部	
建 物 及 び 構 築 物	2,640	株 主 資 本	38,046
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	2,135	資 本 金	6,090
土 地	532	資 本 剩 余 金	6,517
建 設 仮 勘 定	17	利 益 剩 余 金	27,182
そ の 他	170	自 己 株 式	△1,743
無 形 固 定 資 産	19	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△1,101
投 資 其 他 の 資 産	10,250	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△911
投 資 有 価 証 券	8,985	為 替 換 算 調 整 勘 定	△189
長 期 貸 付 金	62	少 数 株 主 持 分	223
繰 延 税 金 資 産	620		
そ の 他	589		
貸 倒 引 当 金	△8	純 資 産 合 計	37,168
資 産 合 計	44,850	負 債 ・ 純 資 産 合 計	44,850

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 △12,628百万円
 2. 保証債務 300百万円
 3. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。
 4. 1株当たり純資産額 3,629円57銭
 1株当たり純資産額の算定上の基礎
 中間連結貸借対照表上の純資産の部の合計額 37,168百万円
 純資産の部の合計額から控除する金額
 少数株主持分 223百万円
 普通株式に係る中間期末の純資産額 36,945百万円
 1株当たり純資産額の算定に用いられた
 中間期末の普通株式の数 10,179千株

中間連結損益計算書

〔平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで〕

(単位：百万円)

科 目	内 訳 金 額	金 額
売 上 高		12,951
売 上 原 価		10,260
売 上 総 利 益		2,690
販売費及び一般管理費		1,912
営 業 利 益		778
営業外収益		
受取利息及び配当金	120	
その他の収益	84	205
営業外費用		
支払利息	3	
投資運用損	230	
為替差損	177	
その他の費用	8	420
経 常 利 益		563
特別利益		
投資有価証券売却益	26	26
特別損失		
固定資産除却損	1	
その他の損失	23	24
税金等調整前中間純利益		564
法人税、住民税及び事業税	63	
法人税等調整額	148	212
少数株主損益調整前中間純利益		352
少数株主利益		23
中 間 純 利 益		328

(注) 1 株当たり中間純利益 32円31銭

1 株当たり中間純利益の算定上の基礎

中間連結損益計算書上の中間純利益	328百万円
普通株式に係る中間純利益	328百万円
普通株主に帰属しない金額	一百万円
普通株式の期中平均株式数	10,179千株

会社の概況（平成22年9月30日現在）

1. 主要な事業内容

	品 目	用 途	主 要 製 品
界面活性剤部門	陰イオン界面活性剤	繊維工業	化合繊維糸紡績油剤、チーズ用柔軟平滑剤
		農薬工業	農薬防疫用乳化剤
		ゴム工業	防着、離型剤
洗剤工業		食器、食品洗浄剤	
非イオン界面活性剤	繊維工業	繊維工業	化合繊維糸紡績油剤、コーニングオイル、フィラメント
		織布用経糸油剤、精練洗浄剤、染色助剤	
		鉄鋼金属工業	圧延油、作動油、金属洗浄剤
		製缶工業	成型用油剤
		樹脂工業	合成樹脂用練込帯電防止剤
		化粧品工業	乳化剤
公害防止産業	流出油処理剤		
陽・両性イオン界面活性剤	繊維工業	繊維工業	柔軟仕上剤、チーズ用柔軟平滑剤、永久通気性撥水剤
		樹脂工業	合成樹脂用帯電防止剤
		化粧品工業	洗剤原料
その他部門	高分子・無機製品	繊維工業	経糸用糊剤、風合改良剤、繊維加工剤
		建材工業	壁材用接着補強剤、軽量化充填剤
		機械工業	合成ダイヤモンド
		電機・機械工業	磁性流体
		自動車産業	軽量化剤
		印刷工業	インキ、塗料加工剤
		化粧品工業	触感向上剤、紫外線防止剤
		エレクトロニクス産業	感熱用薬剤、電池用多孔化剤
仕入商品	建材工業	建材工業	リシン用基剤樹脂
		繊維工業	経糸用糊剤

2. 企業集団の営業所及び工場

(1) 当社

営業所	大阪営業所	東京営業所	名古屋営業所
	広島営業所	金沢営業所	
工場	本社製造部門	静岡製造部（袋井市）	大阪製造部（高石市）

(2) 子会社

工場	インドネシア工場
----	----------

3. 取締役及び監査役

会社における地位	氏名
代表取締役社長	木村直樹
代表取締役専務	矢野真剛
専務取締役	薦谷幹男
常務取締役	高田武
常務取締役	木村芳樹
取締役	渡邊潤
取締役	高橋修
取締役	田中憲吾
取締役	伊藤茂樹
取締役	松本新太郎
常勤監査役	増田俊明
常勤監査役	森下輝久
常勤監査役	吉岡孝
監査役	叶智加羅

(注) 常勤監査役吉岡孝氏、監査役叶智加羅氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役でありませぬ。

株式の概況 (平成22年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 40,000,000株
2. 発行済株式の総数 11,281,629株
3. 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
松本興産株式会社	2,105,390株	20.68%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,058,246	10.40
木村直樹	920,619	9.04
松栄産業株式会社	867,423	8.52
有限会社木村直樹	519,750	5.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	409,200	4.02
松本新太郎	318,725	3.13
岩田みち子	289,772	2.85
相田襄治	225,775	2.22
木村芳樹	216,188	2.12

(注) 当社は、自己株式1,101,678株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	500株
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定める日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネット) (ホームページ) U R L	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	大阪市において発行する「日本経済新聞」に掲載しております。
上場証券取引所	大阪証券取引所（JASDAQ市場）

※ご注意

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及び照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

証券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。